



昭和4年春、東大土木を出て、これという功績等のないままに土木関係の仕事をとにかく45年間も勤め、このたびの土木学会通常総会で、皆様のご推挙により土木学会功績賞を頂いて感激しております。私の勤めている国鉄でも功績章という制度があって、特別の過失のない限り入社後25年で頂くことになっていますが、これはいわば出席点のようなもので、頂いても比較的気が楽なのですが、土木学会の功績賞は容易に頂けないものであるだけに、大した功績等というものなかった私には、何だか身分不相応の借金でもしたような気の重さすら感ぜずにはおられません。私の国鉄勤務は通算35年以上にもなりますが、最初の25年間ぐらいは、もっぱら鉄道の新線の建設をやっていました。その後、国鉄の技師長や現在のようポストについて国鉄の経営に苦勞することになると、かつて私が若い日の情熱を燃やして建設した田舎の閑散線区の鉄道が国鉄赤字の根本になっていることを発見して、国鉄の同僚に申し訳なく感じている次第です。現在の国鉄は、皆様ご承知のように、国民の皆さんに愛される鉄道とはいくら強心臓でも申し上げかねるのですが、国鉄を一步一步前進させて国民の足として、国鉄人が肩を張って歩ける時代を早く招来したいというのが、私の現在の悲願です。世の中を良くするという事は、まず自分の属するグループから手を付け、これを広く押し広げていくことだと私は考えています。

●私の履歴● 明治36年10月、北海道深川市に生まれる。香川県の田舎にある当時の大川中学、岡山六高理科を経て、昭和4年春、東京大学土木を出る。ただちに当時の鉄道省に就職。初期は和歌山県、北海道等で鉄道新線の建設に従事する。第二次大戦後、国鉄信濃川小千谷発電所を建設。その後、国鉄技師長勤務2回、コンサルタント日本交通技術社長2回勤務。昨昭和48年9月国鉄総裁に就任、現在に至る。71歳。現住所：〒251 神奈川県藤沢市辻堂1199 電話(0466)39-8232番。

## 土木学会功績賞を受賞して

## 新たな科学技術の展開を目指して

石原藤次郎



このたび土木学会の功績賞をいただき、身にあまる光栄と存するとともに、諸先輩、同僚その他多くの関係者のご指導とご支援の賜であると、深く感謝しています。

私は水害常襲地であった京都市の南郊に生まれ、水害の悲惨さを身をもって体験していました。大学卒業以来42年間、京都大学で水理学、河海工学の研究、教育に専念できましたことは、いわば初志貫徹とも思われ、恵まれた大学生活と感謝しています。一方、昭和26年に皆様のご支援で日本学術会議会員に選ばれ、途中6年間はぬけましたが、今日まで18年になろうとしています。

科学技術の振興に関する諸方策を審議し、その成果を行政、産業、国民生活に反映・浸透せしめようとする日本学術会議の本来の使命達成につとめてきましたが、その間、学界における土木工学の立場をいくらかでも高揚できたかと思っています。

しかし、最近では公害や環境破壊など、さまざまひずみを生じ、科学技術そのものに対する国民の拒否反応が懸念されています。このままでは、科学技術者の創造への意欲を阻害し、その進捗を停滞させ、社会的諸問題の解決をいよいよ困難にするであります。最近、人類・環境研究会が行った人類の立場からの環境問題への提言、昨年技術同友会が行った人間福祉と技術革新という提言は、ともに環境問題の考え方や新たな科学技術のあり方を示唆するものといえましょう。日本学術会議でも、従来の行動やあり方をきびしく反省し、人間のための科学技術の展開に大きい努力をつづけ、明年は国際環境保全会議を開催すべく、着々と準備を進めています。土木学会の方々が工学各分野のみならず人文社会科学の人びとと学際的立場において、自然と調和し社会と適合した新たな科学技術の進展につとめられることを念願し、私もその一員として勉強して今回の受賞のご恩に報じたいと考えています。

●私の履歴● 明治41年8月京都市に生まれる。三高を経て、昭和5年3月京都帝国大学工学部土木工学科を卒業後、ただちに同大学工学部講師、翌年4月助教授、昭和17年8月工学博士、同18年1月教授となり河海工学講座を担任、同47年3月停年退官し、京都大学名誉教授となる。その間、京都大学工学部長、同防災研究所長、同大型計算機センター長を歴任。昭和26年1月より3年間、および同35年1月より今日まで日本学術会議会員、現在同第5部長、学術交流委員会委員長、水力学・水理学研究連絡委員会委員長、その他多くの委員に就任。土木学会では、昭和33年度関西支部長、同43年度会長(第56代)となり、現在水資源問題懇談会座長などをつとめ、他の学協会との関係も少なくない。昭和47年4月より(財)防災研究協会理事長となり、若干の会社に関係しているが、現在建設省河川審議委員、近畿圏整備審議委員会委員、経済企画庁水資源開発審議委員会委員、その他文部省をはじめ若干の省庁や自治体の委員をつとめている。65歳。現住所：〒606/京都市左京区下鴨西梅ノ木町36-3 電話(075)781-3358番。